調査名 千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	千葉市中央区青葉町1273番5			北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課			調査期間	平成16年 6月16日～16年 6月17日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	22.67m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	30.39m	使用機種	試錐機	KR100	ハンマー落下用具	自由落下	
			エンジン	ヤンマー NFD9-EK	ポンプ	V-5	

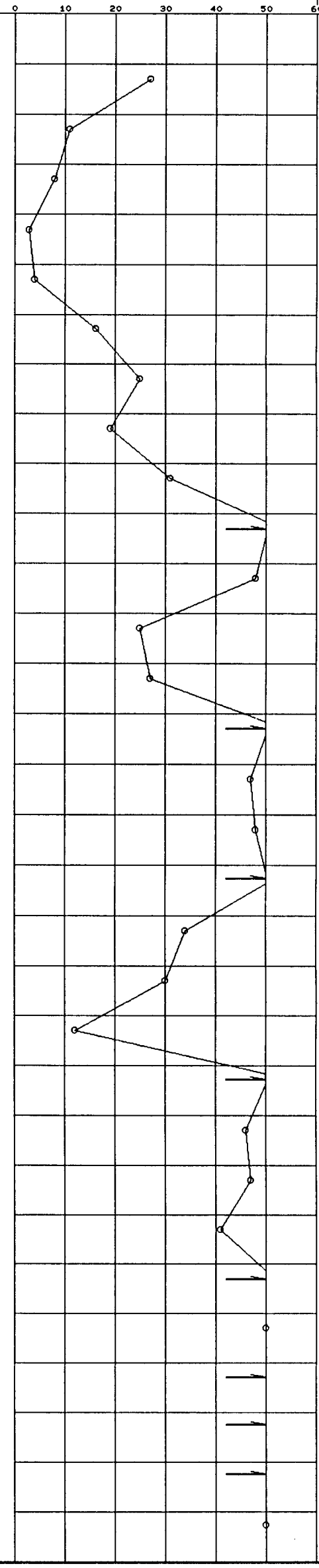
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	20.87	1.80	1.80		埋土	暗茶褐			ローム主体。草根少量混入。粘性強い。所々、細砂を多量に混入する。1.40m付近、砕石多い。1.50～1.70m、アスファルト混入。
2 3	18.67	2.20	4.00		粘土質ローム	暗茶褐		中位	粘性強い。酸化鉄少量混入する。含水少。
4	17.77	0.90	4.90		凝灰質シルト質粘土	暗茶褐		軟らかい	含水中位。粘性強い。
5 6	16.67	1.10	6.00		シルト混じり中細砂		緩		粒子不均一である。含水中位。
7 8	14.67	2.00	8.00		中細砂	暗黄褐～暗黄灰	中		
9	12.87	1.80	9.80		中砂	暗黄褐	中		9.00～9.80m、粗砂を混入する。含水中位。
10 11 12 13	8.77	4.10	13.90		粗中砂	暗黄褐	密		粒径不均一である。10.15m付近にφ2～5mm円礫少量混入する。11.00～13.00m、所々φ2～3mmの円礫少量混入。13.40m付近、酸化鉄散在する。含水やや多い。
14 15 16 17	5.67	3.10	17.00		細砂	暗黄褐	密		粒径不均一である。φ2～3mmの円礫を少量混入する。15.15m付近、シルト分微量混入。含水中位。
18 19 20	1.87	3.80	20.80		細砂	暗黄褐	中		粒子不均一である。所々、シルト薄層を挟在する。17.90～20.00m、含水中位。20.00～20.80m付近、含水やや多い。
21	0.77	1.10	21.90		貝殻混じり細中砂	暗黄褐	極密		所々、貝殻片を少量混入する。粒子不均一である。含水やや多い。
22	-0.13	0.90	22.80		シルト貝殻混じり細砂	暗黄褐	極密		シルトをブロック状に挟在する。含水中位。所々貝殻片少量混入する。
23 24 25	-3.13	3.00	25.80		凝灰質細中砂	灰	極密		粒子不均一。含水やや多い。若干シルト成分混じる。25.15～25.30m、ブロック状シルトを少量混入する。
26 27 28 29 30	-7.72	4.59	30.39		中砂	暗黄褐	極密		粒子均一。含水やや多い。良く締まっている。

孔内水位(m)/測定月日: 6/16 3.40; 6/17 13.50

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)
1.15	8	10	9	27/30
1.45 2.15	3	3	5	11/30
2.45 3.15	2	3/12	3/8	8/30
3.45 4.15	1/14	1	1/8	3/32
4.47 5.15	2/18	1/7	1/5	4/30
5.45 6.15	4/12	4/8	6/6	14/26
6.41 7.15	5	8	12	25/30
7.45 8.15	5	6	8	19/30
8.45 9.15	9	10	12	31/30
9.45 10.15	12	18	20/9	50/29
10.44 11.15	15	15	18	48/30
11.45 12.15	8	8	9	25/30
12.45 13.15	9	9	9	27/30
13.45 14.15	13	19	18/8	50/28
14.43 15.15	12	15	20	47/30
15.45 16.15	13	16	19	48/30
16.45 17.15	16	24	10/2	50/22
17.37 18.15	10	12	12	34/30
18.45 19.15	7	10	13	30/30
19.45 20.15	4/11	4/9	4	12/30
20.45 21.15	17	24	9/3	50/23
21.38 22.15	9	13	24	46/30
22.45 23.15	9	14	24	47/30
23.45 24.15	10	13	18	41/30
24.45 25.15	13	17	20/9	50/29
25.44 26.15	11	17	22	50/30
26.45 27.15	14	17	19/8	50/28
27.43 28.15	29	21/6		50/16
28.31 29.15	22	28/8		50/18
29.33 30.15	14	14	12/4	40/24
30.39				

N値



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験( )

掘進月日: 6/16, 6/17

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	2

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	千葉市中央区青葉町1273番5	北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課	調査期間	平成16年 6月14日～16年 6月15日	東経	
調査業者名		主任技師	現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	22.03m	角度 180° 上 下 0° 90° / 方向 北 0° 東 90° 南 180° 西 270° / 地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	試錐機 KR100	ハンマー落下用具	自由落下
総掘進長	27.64m	使用機種	エンジン ヤンマー NFD9-EK	ポンプ	V-5

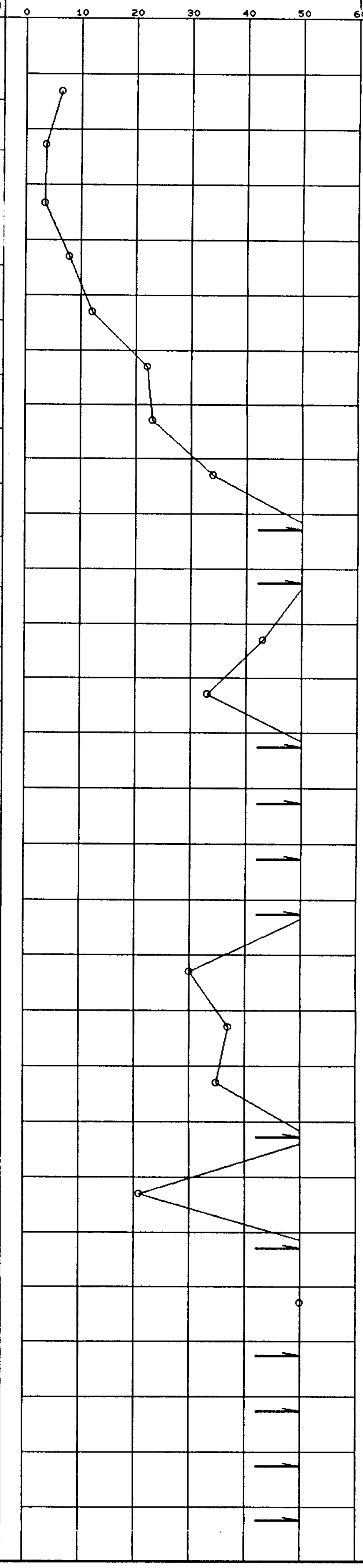
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
21.33	0.70	0.70	埋土	暗茶褐			0.00～0.20m、砕石。0.20～0.70m、ローム主体。粘性強い。
20.23	1.10	1.80	ローム	暗茶褐		中	粘性強い。含水中位。酸化鉄少量挟在する。
18.23	2.00	3.80	粘土質ローム	暗茶褐		軟らかい	粘性強い。含水中位。3.00～3.80m、酸化鉄少量挟在する。
17.23	1.00	4.80	シルト混じり細中砂	暗茶褐	緩		
15.23	2.00	6.80	中砂	暗茶褐・暗黄褐	中		粒子不均一である。含水中位。酸化鉄薄層状に挟在する。粗砂粒を混入する。
14.13	1.10	7.90	粗中砂	暗黄灰	中		粒子不均一である。含水中位。
10.23	3.90	11.80	中砂	暗黄褐	中		粒子不均一である。含水中位。所々、酸化鉄の薄層を挟在する。若干、孔壁崩壊する。11.15m付近、φ2～3㎜の円礫を少量点在する。
8.13	2.10	13.90	粗砂混じり中砂	暗黄褐	密		粒子不均一。含水やや多い。φ5㎜の円礫が点在する。若干、孔壁崩壊ある。
5.03	3.10	17.00	中砂	暗黄褐	極密		粒子不均一。含水やや多い。若干、孔内壁崩壊ある。17.00m付近、シルト薄層を所々挟む。
2.83	2.20	19.20	細砂	暗黄褐	密		含水中位。
1.23	1.60	20.80	貝殻混じり細中砂	暗黄褐	極密		貝殻片の混入が多い。含水やや多い。
0.13	1.10	21.90	貝殻混じりシルト質細中砂	暗黄灰	中		21.15m付近に、貝殻片を少量混入する。粒子不均一。含水中位。
-0.97	1.10	23.00	凝灰質細中砂	灰	極密		固結した粘土質シルト薄層を挟在する。
-5.61	4.64	27.64	細中砂	暗黄灰	極密		含水中位。所々酸化鉄薄層を挟在する。23.00mより、含水中位。23.15～23.30m、砂質シルト薄層を挟在する。23.35m、シルト薄層挟在する。

孔内水位(m)／測定月日: 0.35　6/15 4.55　6/14 5.50

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15～1.47	2	2	3/12	7/32
2.15～2.40	2/12	1/13		3/25
3.15～3.50	1/11	2/14	1	4/35
4.15～4.45	2/13	3/8	3/9	8/30
5.15～5.45	3	4	5	12/30
6.15～6.45	5	8	9	22/30
7.15～7.45	7	7	9	23/30
8.15～8.45	10	11	13	34/30
9.15～9.42	13	19	18/7	50/27
10.15～10.35	20	30		50/20
11.15～11.45	10	15	18	43/30
12.15～12.45	10	12	11	33/30
13.15～13.37	19	24	7/2	50/22
14.15～14.40	16	20	14/5	50/25
15.15～15.39	15	23	12/4	50/24
16.15～16.35	21	29		50/20
17.15～17.45	8	9	13	30/30
18.15～18.45	11	12	14	37/30
19.15～19.45	10	11	14	35/30
20.15～20.39	18	22	10/4	50/24
21.15～21.45	5	6	10	21/30
22.15～22.43	11	17	22/8	50/28
23.15～23.45	10	15	25	50/30
24.15～24.35	25	25		50/20
25.15～25.37	21	26	3/2	50/22
26.15～26.36	15	32	3/1	50/21
27.15～27.34	22	28/9		50/19

N値



原位置試験: 深度 (m)、試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
3.00～3.80	1	Ⓣ	含水 比重 粒度 液性 塑性 一軸 三軸 圧

掘進月日: 6/14 (23m付近)、6/15 (27m付近)

ボーリング柱状図

調査名　千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	3

シートNo.

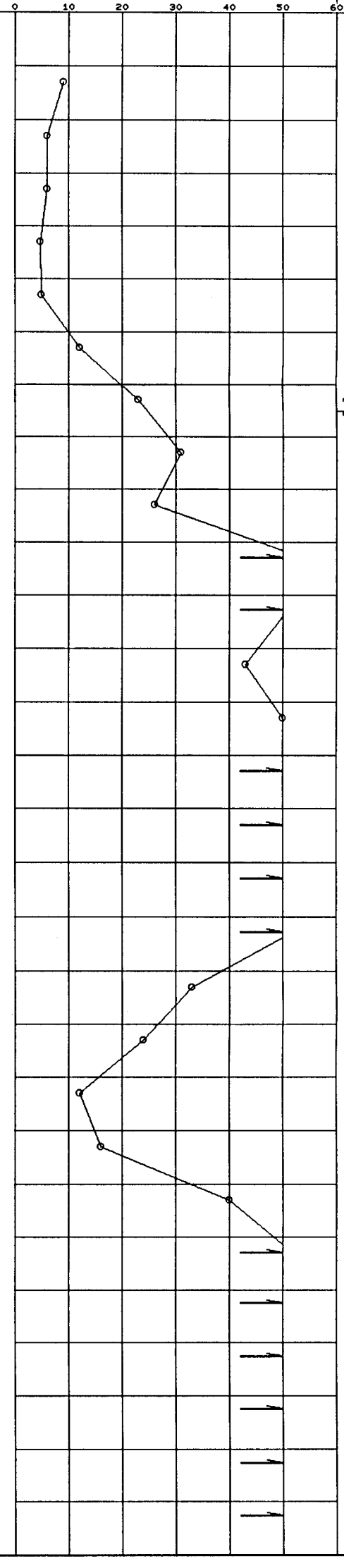
ボーリング名	No. 3	調査位置	千葉市中央区青葉町1273番5			北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課			調査期間	平成16年 6月 9日～16年 6月11日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	22.92m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	28.36m					試錐機	KR100	ハンマー落下用具	自由落下
						エンジン	ヤンマー NFD9-EK	ポンプ	V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	22.02	0.90	0.90		埋土	暗茶褐			0.00～0.20m砕石。含水少。0.20～0.90m、ローム主体。粘性強い。
1 2 3	18.92	3.10	4.00		粘土質ローム	暗茶褐		中位	含水中位。粘性強い。酸化鉄少量点在（2.00～3.10m）。
4	18.22	0.70	4.70		凝灰質粘土	乳茶褐		中位	含水中位。粘性強い。浮石少量混入。酸化鉄ある。
5	17.22	1.00	5.70		シルト質中細砂	暗黄褐	緩		
6 7 8 9	13.12	4.10	9.80		中砂	暗黄褐	中		含水中位。粒子不均一。全体にごく少量の粘土分含有。酸化鉄少量散点する。所々、径2～3mmの円礫点在する。若干、孔壁崩壊。9.15～9.20m、粗砂薄い層を挟在する。9.30m付近、シルト薄層を挟む。
10	12.02	1.10	10.90		中砂	暗黄灰	密		粒子不均一。含水中位。
11 12 13 14 15 16	6.12	5.90	16.80		粗中砂	暗黄褐・暗黄灰	極密		含水多少多い。所々、φ2～3mmの円礫点在する。
17	5.22	0.90	17.70		細中砂	暗黄灰	密		含水中位。シルト薄層状を挟む。
18 19	2.92	2.30	20.00		細中砂	暗黄灰	中		含水中位。
20 21	1.62	1.30	21.30		中砂	暗黄灰	中		20.00mより、含水やや多い。21.25m付近、シルト質細砂薄層を挟む。
22	0.92	0.70	22.00		貝殻混じり粗中砂	暗黄灰	中		含水多い。貝殻片多く混入。
	0.02	0.90	22.90		シルト質細砂	暗黄灰	密		砂質シルト成分の混入多い。含水やや多い。貝殻片微量混入する。
23 24 25 26 27	-4.68	4.70	27.60		細中砂	灰	極密		含水多い。22.90～24.00m、シルト薄層を挟む。上部は凝灰質である。27.20m付近に、シルト薄層を挟む。
28	-5.44	0.76	28.36		中砂	暗黄褐	極密		28.00m付近、シルト薄層を挟む。粗砂を含有する。

標準貫入試験

孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
6/11 1.50	1.15	3	3	3	9/30
	1.45 2.15	2/11	2	2/9	6/30
	2.45 3.15	2	2	2	6/30
	3.45 4.15	2/15	1/6	2	5/31
	4.46 5.15	2/14	1/6	2	5/30
	5.45 6.15	3	4	5	12/30
	6.45 7.15	7	7	9	23/30
	7.45 8.15	8	11	12	31/30
	8.45 9.15	7	8	11	26/30
	9.45 10.15	11	19	20/8	50/28
	10.43 11.15	16	25	9/4	50/24
	11.39 12.15	11	15	17	43/30
	12.45 13.15	12	18	20	50/30
	13.45 14.15	13	19	18/8	50/28
	14.43 15.15	14	18	18/9	50/29
	15.44 16.15	15	18	17/8	50/28
	16.43 17.15	15	26	9/3	50/23
	17.38 18.15	9	11	13	33/30
	18.45 19.15	5	8	11	24/30
	19.45 20.15	4	4	4	12/30
	20.45 21.15	3	6	7	16/30
	21.45 22.15	9	12	19	40/30
	22.45 23.15	11	21	18/6	50/26
	23.41 24.15	21	29/8		50/18
	24.33 25.15	22	28		50/20
	25.35 26.15	25	25/7		50/17
	26.32 27.15	14	22	14/4	50/24
	27.39 28.15	12	36	2/1	50/21
	28.36				

N値



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
7.50 7.50	孔内水平載荷試験

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：6/9、6/10、6/11

ボーリング柱状図

調査名　千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	4

シートNo.

ボーリング名	No. 4	調査位置	千葉市中央区青葉町１２７３番５					北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課			調査期間	平成１６年　６月１５日～１６年　６月１６日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	22.68m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	28.30m								

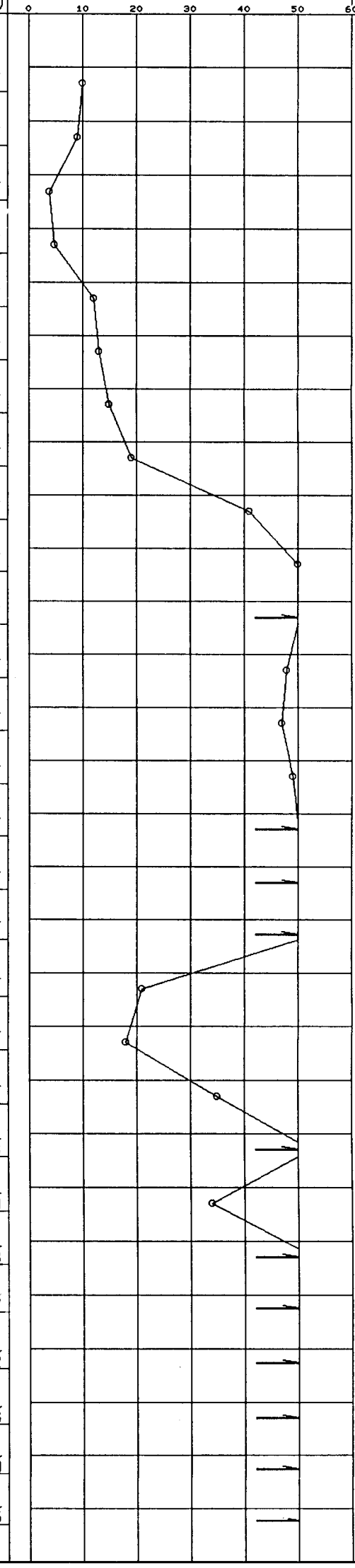
試錐機	ＫＲ１００	ハンマー落下用具	自由落下
エンジン	ヤンマー　ＮＦＤ９－ＥＫ	ポンプ	Ｖ－５

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m)／測定月日
	21.88	0.80	0.80		埋土	暗茶褐			ローム主体。粘土・カラ等少量混入。含水中位。0.50～0.80m、細砂の混入多い。	
	18.98	2.90	3.70		粘土質ローム	暗茶褐		中位	粘性強い。含水少～中位（2.70mより含水増す）。	
	18.18	0.80	4.50		砂混じり粘土質シルト	暗茶褐		中位	凝灰質である。円摩細礫をごく少量混入する。	
	13.98	4.20	8.70		中砂	暗黄褐	中		含水中位。6.80～8.70m、粘土分少量混じる。粘土のごく薄層を挟在する。7.00～8.70m、粗砂を不規則に混入する。	
	6.88	7.10	15.80		中砂	暗黄褐・暗黄灰	密		粒子不均一。若干孔壁崩壊ある。6.70～11.00m、含水中位。11.00～15.80m、含水多少多い。粗砂粒を混入する。	6/16 11.46 ▽
	2.38	4.50	20.30		中砂	暗黄灰・暗黄褐	中		粒子不均一。含水やや多い。17.00～18.00m、ブロック状シルト少量混入する。20.00m付近も同様。18.00～20.30m、シルト少量混入する。	
	0.38	2.00	22.30		貝殻混じり中砂	暗黄褐	密		貝殻片（２枚貝及び細片）混入多い。	
	-1.12	1.50	23.80		シルト混じり中細砂	灰	密		22.30～23.00m、シルト少量含有。冠水やや多い。凝灰質である。	
	-4.82	3.70	27.50		中細砂	暗黄灰				
	-5.62	0.80	28.30		細中砂	暗黄褐				

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	3	3	4	10/30
1.45 2.15	3	3	3	9/30
2.45 3.15	2/18	1/7	1/7	4/32
3.47 4.15	2/15	1/6	2	5/31
4.46 5.15	4	4	4	12/30
5.45 6.15	4	4	5	13/30
6.45 7.15	5	5	5	15/30
7.45 8.15	6	6	7	19/30
8.45 9.15	10	14	17	41/30
9.45 10.15	11	15	24	50/30
10.45 11.15	12	17	21/9	50/29
11.44 12.15	13	16	19	48/30
12.45 13.15	13	15	19	47/30
13.45 14.15	13	16	20	49/30
14.45 15.15	16	18	16/8	50/28
15.43 16.15	12	18	20/9	50/29
16.44 17.15	16	25	9/3	50/23
17.38 18.15	5	7	9	21/30
18.45 19.15	6	6	6	18/30
19.45 20.15	6	13	16	35/30
20.45 21.15	15	17	18/8	50/28
21.43 22.15	9	11	14	34/30
22.45 23.15	12	15	23/8	50/28
23.43 24.15	20	30/7		50/17
24.32 25.15	20	25	5/2	50/22
25.37 26.15	16	19	15/6	50/26
26.41 27.15	30	20		50/20
27.35 28.15	26	24/5		50/15
28.30				

N値



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				6/15
				6/16

ボーリング柱状図

調査名　千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5

シートNo.

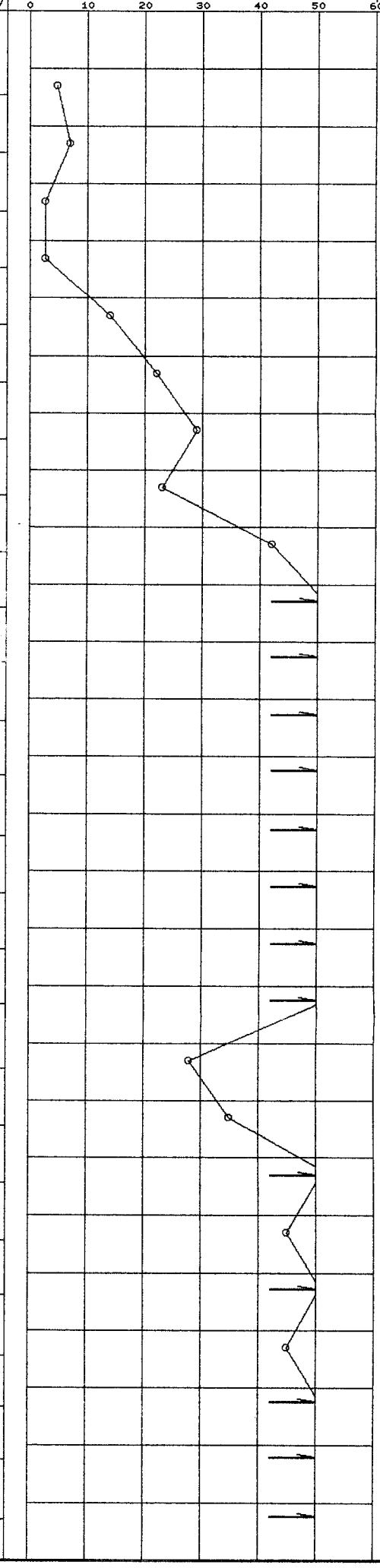
ボーリング名	No. 5	調査位置	千葉市中央区青葉町１２７３番５			北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課			調査期間	平成１６年　６月　８日～１６年　６月　９日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	22.80m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°
総掘進長	26.29m	使用機種	試錐機	ＫＲ１００	ハンマー落下用具	自由落下	
			エンジン	ヤンマー　ＮＦＤ９－ＥＫ	ポンプ	Ｖ－５	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2	20.30	2.50	2.50		埋土	暗茶褐～暗黄褐～暗褐～暗黄褐			0.00～1.30m、ロームを主にし、粘土多量に混じる。 1.30～1.80m、細砂。 1.80～2.10m、礫混じり粘土を主とする。 2.10mから細砂を主とし、ビニール等少量混じる。 2.20m付近、礫少量混じる。
3 4	18.00	2.30	4.80		粘土質ローム	暗茶褐		軟らかい	全体に粘土化が進行し、粘着力強い。 所々浮石少量混じる。
5 6 7 8 9	13.10	4.90	9.70		中砂	暗黄褐	中		粗砂粒を若干混入する。 5.20m以浅、所々凝灰質粘土3～5cm挟む。 粒子不均一。 8.00～8.20m間、径φ2～5mm、中大の小円礫多く混じる。 孔壁の崩壊少。
10 11 12 13 14 15 16 17	5.00	8.10	17.80		中砂	暗黄褐	極密		所々粒子粗く、不均一。粗砂を混入する。 孔壁の崩壊少。 全体的に非常に締まり、密な砂層。
18	3.90	1.10	18.90		シルト混じり細砂	暗黄褐	密		全体にシルト多く含有。 雲母片を混入する。 粒子細かく、均一。
19 20	2.80	1.10	20.00		細砂	暗黄褐	密		所々粗く、粒子不均一。 雲母片を混入する。 孔壁の崩壊少。
21 22	0.70	2.10	22.10		貝殻混じり細中砂	暗黄褐	極密		二枚貝及び細片状の貝殻片、多量に混じる。 粒子不均一。
23	-0.50	1.20	23.30		細中砂	暗黄灰	極密		粒子細かく不均一。凝灰質である。 22.30m以浅、暗黄褐を呈す。 所々浮石薄く挟在。
24	-1.20	0.70	24.00		細砂	褐黄灰	密		シルト分少量含有。 粒子細かく、均一。
25 26	-3.49	2.29	26.29		中細砂	暗黄灰	極密		所々粒子粗く不均一。 孔壁の崩壊少。

孔内水位(m)／測定月日：2.45 ▽

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	1	2/11	2	5/31
1.46 2.15	3/11	2/9	2	7/30
2.45 3.15	1/13	1	1/11	3/34
3.49 4.15	1/12	1/11	1	3/33
4.48 5.15	3	5	6	14/30
5.45 6.15	5	8	9	22/30
6.45 7.15	8	10	11	29/30
7.45 8.15	6	8	9	23/30
8.45 9.15	10	15	17	42/30
9.45 10.15	13	21	16/6	50/26
10.41 11.15	21	26	3/1	50/21
11.36 12.15	17	21	12/5	50/25
12.40 13.15	26	24/8		50/18
13.33 14.15	14	22	14/5	50/25
14.40 15.15	19	23	8/5	50/25
15.40 16.15	18	26	6/2	50/22
16.37 17.15	27	23/7		50/17
17.32 18.15	6	10	12	28/30
18.45 19.15	8	13	14	35/30
19.45 20.15	13	16	21/9	50/29
20.44 21.15	9	13	23	45/30
21.45 22.15	13	21	16/3	50/23
22.38 23.15	13	12	20	45/30
23.45 24.15	23	27/8		50/18
24.33 25.15	50			50/10
25.25 26.15	30	20/4		50/14
26.29				

N値



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：6/8　6/9

ボーリング柱状図

調査名 千葉市看護師養成施設地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	6

シートNo.

ボーリング名	No. 6	調査位置	千葉市中央区青葉町１２７３番５					北緯	
発注機関	千葉都市局建設部営繕課			調査期間	平成１６年 ６月１０日～１６年 ６月１４日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	21.56m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	26.29m								

試錐機	ＫＲ１００	ハンマー落下用具	自由落下
エンジン	ヤンマー ＮＦＤ９－ＥＫ	ポンプ	Ｖ－５

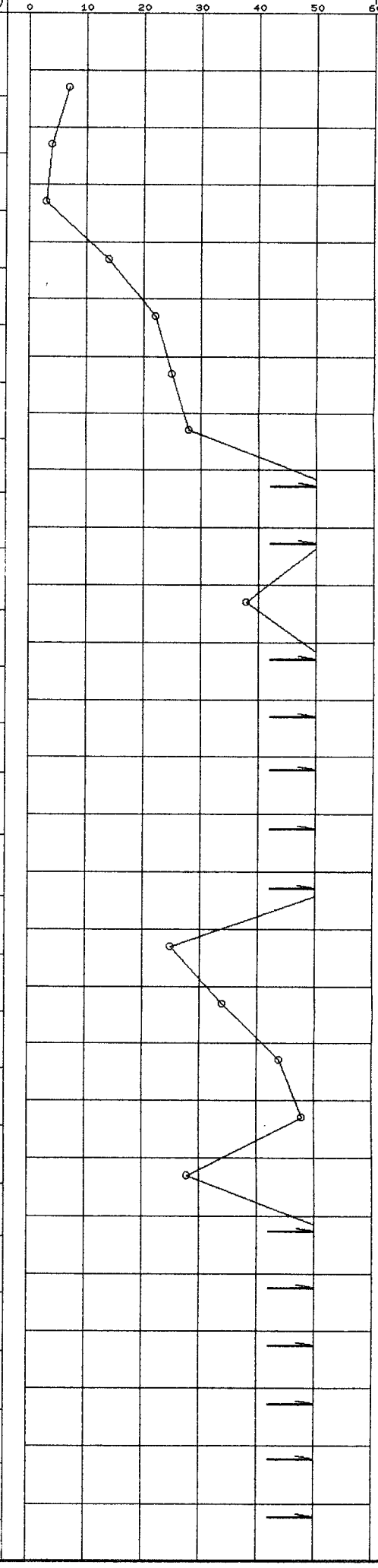
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	21.26	0.30	0.30		埋土	茶褐			ローム主体。礫混入多い。含水多い。
1					粘土質ローム	暗茶褐		中位	粘性強い。 含水中位。
2	18.86	2.40	2.70						
3	17.86	1.00	3.70		凝灰質粘土	乳茶褐・乳黄灰		軟らかい	粘性強い。含水中位。 浮石少量混入。 所々酸化鉄少量混じる。
4					中砂	暗黄褐	中		所々粒子粗く、粒径不均一。 4.20mより、粘土をポケット状に混入する。
5	15.96	1.90	5.60						
6					粗中砂	暗黄褐	中		若干、孔壁崩壊ある。 7.00mより、含水多い。 7.50～8.00m、厚さ10～20cmの細砂層を挟在する。
7									
8									
9	11.86	4.10	9.70						
10	10.76	1.10	10.80		中砂	暗黄灰	中		中砂の混入多く、粒径不均一。 若干孔壁崩壊する。 含水やや多い。
11	9.56	1.20	12.00		粗中砂	暗黄灰	密		若干孔壁崩壊する。含水多い。
12					細中砂	暗黄灰	極密		中砂を少量混入し、粒径不均一である。 含水多い。 15.00～15.70m、ブロック状シルト少量挟在する。
13									
14									
15	5.86	3.70	15.70						
16					中細砂	暗黄褐	中		含水中位。
17	4.16	1.70	17.40						
18					貝殻混じり中砂	暗黄褐	密		貝殻は二枚貝個体及び細片より成る。 含水中位。 19.00～20.00m、含水多い。
19									
20	0.76	3.40	20.80						
21	-0.14	0.90	21.70		細中砂	灰	極密		凝灰質である。
22					細中砂	暗黄灰	極密		粒子細かく、粒径ほぼ均一。 含水やや多い。
23									
24									
25									
26	-4.73	4.59	26.29						

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	測定月日
1.15	2	2	3	7/30	
1.45 2.15	2/17	1/6	1/7	4/30	6/14 2.70 ▽
2.45 3.15	1/11	1	1/9	3/30	
3.45 4.15	4	5	5	14/30	6/10 4.23 ▽
4.45 5.15	6	7	9	22/30	
5.45 6.15	7	8	10	25/30	
6.45 7.15	8	8	12	28/30	
7.45 8.15	15	23	12/4	50/24	
8.39 9.15	20	23	7/2	50/22	
9.37 10.15	10	13	15	38/30	
10.45 11.15	15	17	18/8	50/28	
11.43 12.15	15	22	13/6	50/26	
12.41 13.15	31	19/4		50/14	
13.29 14.15	19	28	3/1	50/21	
14.36 15.15	13	18	19/8	50/28	
15.43 16.15	7	8	10	25/30	
16.45 17.15	6	11	17	34/30	
17.45 18.15	12	15	17	44/30	
18.45 19.15	12	18	18	48/30	
19.45 20.15	8	9	11	28/30	
20.45 21.15	17	33		50/20	
21.35 22.15	20	30/9		50/19	
22.34 23.15	22	24	4/1	50/21	
23.36 24.15	18	20	12/3	50/23	
24.38 25.15	29	21/5		50/15	
25.30 26.15	35	15/4		50/14	
26.29					

N 値



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（ ）

掘進月日

6/10

6/11

6/14